

こらくじょうせき
「狐落城跡」 町指定（史跡）

所在地：大字網掛字上手山 所有者：個人 指定：昭和46年9月8日

この城は対岸の葛尾城に本拠を置いた村上義清（1501～73）の支城の一つで、三水城山^{みすい}の支脈上の高所に築かれた山城で、三水城の出城ともみられます。東に坂城盆地を見渡し、南東岩鼻^{いわばな}の和合城と相対し、北に葛尾城を望む村上庄の南端にあつて、千曲川の西岸地帯の要地を占めています。本郭は東西14m、南北7mの長方形で、四周を石積とし、南北に犬走り^{いぬぼし}があります。二の郭は本郭の東方一段下に東西13m、南北16mの三角形をなしています。北に虎ノ口（入口）があり、ほかに堀切、土塁跡が残っています。

天文22年（1553）4月、武田晴信（信玄）の村上氏攻略の時、守将小嶋兵庫助らがここで討死^{うちじに}して、この城は陥落^{かんらく}しました。

